

精神科研修 今宿病院

一般目標(オリエンテーション)

今宿病院

・当院での研修目標は、精神疾患及び精神障害者に対する偏見や抵抗感をなくし、身体疾患と同様、医師として対峙できるようにトレーニングすることである。外来では、新規患者の予診や、落ち着いている患者の外来診療を経験し、入院では約130名程度の患者を少なくとも週1回は回診することで、冒頭の目的を達成できるようシステム化している。
結果、月末提出のレポート(統合失調症、認知症、うつ病)でも、異口同音に実り多い研修であったと、各研修医から評価を得ている。

行動目標

B-1 医学・医療における倫理性

- ①人間の尊厳を守り、生命の不可侵性を尊重する。
- ②患者のプライバシーに配慮し、守秘義務を果たす。
- ③倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づき対応する。
- ④利益相反を認識し、管理方針に準拠して対応する。

B-2 医学知識と問題対応能力

- ①頻度の高い症候について、適切な臨床推論のプロセスを経て、鑑別診断と初期対応を行う。
- ②患者情報を収集し、最新の医学的知見に基づいて、患者の意向や生活の質に配慮した臨床決断を行う。
- ③保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、実行する。

B-3 診療技能と患者ケア

- ①患者の健康状態に関する情報を、心理・社会的側面を含めて、効果的かつ安全に収集する。
- ②患者の状態に合わせた、最適な治療を安全に実施する。
- ③診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切かつ遅滞なく作成する。

B-4 コミュニケーション能力

- ①適切な言葉遣い、礼儀正しい態度、身だしなみで患者や家族に接する。
- ②患者や家族にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で説明して、患者の主体的な意思決定を支援する。
- ③患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する。

B-5 チーム医療の実践

- ①医療を提供する組織やチームの目的、チームの各構成員の役割を理解する。
- ②チームの各構成員と情報を共有し、連携を図る。

B-6 医療の質と安全管理

- ①医療の質と患者安全の重要性を理解し、それらの評価・改善に努める。
- ②日常業務の一環として、報告・連絡・相談を実践する。
- ③医療事故等の予防と事後の対応を行う。
- ④医療従事者の健康管理(予防接種や針刺し事故への対応を含む。)を理解し、自らの健康管理に努める。

B-7 社会における医療の実践

- ①保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解する。
- ②医療費の患者負担に配慮しつつ、健康保険、公費負担医療を適切に活用する。
- ③地域の健康問題やニーズを把握し、必要な対策を提案する。
- ④予防医療・保健・健康増進に努める。

B-8 科学的探究

- ①医療上の疑問点を研究課題に変換する。
- ②科学研究方法を理解し、活用する。
- ③臨床研究や治験の意義を理解し、協力する。

B-9 生涯に渡って共に学ぶ姿勢

- ①急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収に努める。
- ②同僚、後輩、医師以外の医療職と互いに教え、学びあう。
- ③国内外の政策や医学及び医療の最新動向(薬剤耐性菌やゲノム医療等を含む。)を把握する。

研修の方略(LS)

週間スケジュール		月	火	水	木	金
時間						
午前		院長外来	病棟診察	院長外来	院長外来	病棟回診
午後		病棟回診	—	デイケア 病棟回診	病棟回診	病棟回診

外来診療に関する業務

・外来新規受診患者の予診と本診時の見学及び、スーパーバイスを受ける。
また落ち着いている外来再診患者の診察を単独で担ってもらいスーパーバイスを受ける。

病棟業務

・毎日15～20人程度の患者さんを回診し、主治医との連携において、状態像の把握や治療方針の確認を繰り返して行う。

カンファレンス

・医局での精神科薬物療法の講義を受け、週一回デイケアの医師の指導に参加し作業療法を見学して病棟でのカンファレンスへは、自由参加を促している。

その他 緊急時対応・学術活動等

経験可能な症候(経験すべき症候29症例中20症候)		
1	ショック	○
2	体重減少・るい瘦	○ 摂食障害の入院治療を経験し診断と初期治療ができる
3	発疹	
4	黄疸	
5	発熱	○
6	もの忘れ	○
7	頭痛	○
8	めまい	○
9	意識障害・失神	○
10	けいれん発作	○
11	視力障害	○
12	胸痛	○
13	心停止	○
14	呼吸困難	○ 過呼吸症候群の初期治療ができる
15	吐血・喀血	
16	下血・血便	
17	嘔気・嘔吐	○
18	腹痛	○
19	便通異常(下痢・便秘)	○
20	熱傷・外傷	
21	腰・背部痛	
22	関節痛	
23	運動麻痺・筋力低下	○
24	排尿障害(尿失禁・排尿困難)	○
25	興奮・せん妄	○ せん妄を診断し、初期治療ができる
26	抑うつ	○ うつ病、双極性障害の治療
27	成長・発達障害	○
28	妊娠・出産	
29	終末期の症候	
経験可能な疾病・病態(経験すべき疾病・病態26疾病・病態中5疾病・病態)		
1	脳血管障害	○
2	認知症	○
3	急性冠症候群	
4	心不全	
5	大動脈瘤	
6	高血圧	
7	肺癌	
8	肺炎	
9	急性上気道炎	
10	気管支喘息	
11	慢性閉塞性肺疾患(COPD)	
12	急性胃腸炎	
13	胃癌	
14	消化性潰瘍	
15	肝炎・肝硬変	
16	胆石症	
17	大腸癌	
18	腎盂腎炎	
19	尿路結石	
20	腎不全	
21	高エネルギー外傷・骨折	
22	糖尿病	
23	脂質異常症	
24	うつ病	○ うつ病の診断と治療を体得する。
25	統合失調症	○ 統合失調症の急性期治療を経験し、初期の管理ができる。
26	依存症(ニコチン・アルコール・薬物・病的賭博)	○ アルコール離脱症候群などの急性期治療を経験し、初期の管理ができる。

